

(1) 実施機関名：

山梨県富士山科学研究所

(2) 研究課題（または観測項目）名：

富士山の事象系統樹を精緻化するための噴火履歴の研究

(3) 関連の深い建議の項目：

2 地震・火山噴火の予測のための研究

(4) 中長期的な火山活動の評価

ア. 火山噴火の長期活動の評価

(4) その他関連する建議の項目：

1 地震・火山現象の解明のための研究

(1) 地震・火山現象に関する史料・考古データ、地質データ等の収集と解析

ウ. 地質データ等の収集・集成と分析

(2) 低頻度大規模地震・火山噴火現象の解明

火山

2 地震・火山噴火の予測のための研究

(5) 火山活動推移モデルの構築による火山噴火予測

3 地震・火山噴火の災害誘因予測のための研究

(2) 地震・火山噴火の災害誘因の即時予測手法の高度化

ウ. 火山噴出物による災害誘因の即時予測手法

(5) 総合的研究との関連：

(6) 平成30年度までの関連する研究成果（または観測実績）の概要：

富士山の噴火履歴の精緻化を目的に、火口特定やテフラ層序に関する野外調査やトレンチ調査、古地磁気を使用した溶岩の噴出年代の推定、特定有機化合物を使用した放射性炭素年代測定法の検討に関する研究を実施した。これらの研究の成果は、現在検討を行っている富士山のハザードマップの検討に活用されている。

(7) 本課題の5か年の到達目標：

富士山におけるテフラ層序や年代未詳の噴出物の年代を決定させることにより、噴火履歴を高精度化し、その結果をもとに噴火事象系統樹を精緻化する。

(8) 本課題の5か年計画の概要：

富士山の噴火事象系統樹を精緻化するために、詳細な噴火履歴と噴火推移が必要である。そのため、地質調査およびトレンチ調査を実施し、富士火山東麓におけるテフラ層序の再検討を行う。また、堆積物中の有機分子を使った年代推定手法の検討や古地磁気の永年変化を用いた溶岩の年代決定法を検討し、年代未詳の溶岩やテフラの年代決定を行う。さらに、富士山噴出物の既存研究のデータを集約し、調査研究で得られたデータと共に富士山噴出物データベースを構築し、これらのデータを基に噴火履歴の高精度化、噴火事象系統樹の精緻化に取り組む。

(9) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

山梨県富士山科学研究所 火山防災研究センター
他機関との共同研究の有無：有

安田敦（東京大学地震研究所）、岩森光（東京大学地震研究所）、中村美千彦（東北大学理学研究科）、嶋野岳人（鹿児島大学理工学域理学系）、田島靖久（日本工営株式会社中央研究所）

(10) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署名等：山梨県富士山科学研究所

電話：0555-72-6211

e-mail：www-admin@mfri.pref.yamanashi.jp

URL：http://www.mfri.pref.yamanashi.jp/index.html

(11) この研究課題（または観測項目）の連絡担当者

氏名：吉本充宏

所属：山梨県富士山科学研究所